

# 国語科学習指導案

- 1 単元名「論理の展開を意識して書こう」
- 2 国語科における「自立した学習者とは」

授業場所 3年3組教室  
授業学級 3年3組(28名)



## 導入

- ・課題を見つけることができる。
- ・課題解決の見通しをもつことができる。

## 展開

- ・課題解決の方法を選択することができる。
- ・仲間と交流しながらよりよい解決方法を模索することができる。

## 終末

- ・課題を解決できた実感できる。
- ・次の課題を見つけたりさらなる見通しをもったりすることができる。

## 3 生徒の実態と指導の方向性

# 自立

### 自立した学習者としての生徒の実態

「課題解決に向けて自分で考えたり、自ら取り組んだりすることができる」に対して、肯定的に答えた生徒は92%であった。また、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができるか」に対して、肯定的に答えた生徒が100%であった。このことから、課題解決に対して前向きに向かう姿勢がある生徒が多く、仲間との交流を通して考えを深めることができる。よって、個別最適な学びと協働的な学びが往還する活動を意図的に仕組むことが、自立した学習者の育成に向けて効果的であると考えられる。

# 教科

### 本単元における生徒の実態

「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているか」に対して、肯定的に答えた生徒は、92%であった。一方、「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表しているか」に対して、「当てはまる」と答えた生徒は27%であった。自分の発表を工夫して発表することに対して自信がない生徒が多いことがわかる。そのため、文章構成を吟味する時間を意図的に位置づける。

# 未来

### 未来の社会の担い手となる生徒の実態

「人の役に立つ人間になりたいか」に対して、肯定的に答えた生徒は、100%であった。さらに、「授業で、学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思うか」に対しては、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は、85%であった。このことから、自身が将来、身の回りの社会の担い手となる自覚をもっている生徒が多く、地域の素材を活かした学習指導が有効だと考えられる。

## 4 研究との関わり

- 手立て① 揖斐川町をよりよい町にしていくために、「統計からみた揖斐川町の現状」を題材とし、自分の意見を新聞社に投書するという単元の課題を位置付ける。
- 手立て② 課題解決に向けて、小論文を書く方法をロイロノート or ノートで選択できるようにしたり、調べものをする時にはタブレットや図書室の本など様々なツールでできるようにしたりする。
- 手立て③ 資料や文章、話の組立ての工夫に自信をもてるように、文章の構成を吟味する単位時間を設ける。

## 5 学習の流れ

### 第5時 交流する

- ・仲間と小論文を読み合い、論理の展開などについて助言し、投書する小論文を決める。

### 第4時 小論文を書く

- ・考えがわかりやすく伝わるよう表現を工夫して書く。

### 第3時 展開や構成の吟味(本時)

- ・説得できるような論理の展開、文章の構成を考える。

### 第2時 意見と根拠を選ぶ

- ・軸となる意見を持ち、適切な根拠を選ぶ。

### 第1時 資料を読み解く

- ・グラフから事実と考えたことにわけて読み解き、揖斐川町をよりよい町にするための意見をもつ。

# 国語科 学習指導案

公開学級 第3学年 3組 (28人)

場所 南舎2階 3年3組教室

1 単元名

論理の展開を意識して書こう

2 本時のねらい

多様な読み手を説得できるように論理の展開を考えて、文章の構成を工夫することができる。

(思考・判断・表現) B書く(1)イ

3 本時の展開 (3/5)

過程	活動内容	研究に関わる手立て
導入 7分	<p><b>1 本単元の終末で新聞に投書することを想起する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞を読む人は誰が想定されるか考え、多様な読み手を意識する。</li> </ul> <p><b>2 本時の学習の見通しをもつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見に説得力をもたせるためにはどうするとよいか確認する。</li> <li>S: 客観的で信頼性の高い事実を根拠とする。</li> <li>S: 意見と根拠を無理なく結び付ける「理由づけ」を明確にする。</li> <li>S: 適切な根拠と「理由づけ」を複数提示する。</li> <li>文章の種類を想起する。(頭括型、双括型、尾括型)</li> </ul>	<p><b>研究内容1(2)</b> <b>生徒が学習活動の目的を明確にできる指導の工夫</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/>これまで学習した「説得力をもたせるにはどうするとよいか」を想起させ、それをういて考えることを確認する。</p>
展開 1分	<p><b>3 本時の課題を確認し、課題解決の見通しをもつ</b></p> <p>多様な読み手を説得できるよう構成メモの順序や内容を考え、仲間にアドバイスをしよう。</p>	
5分	<p><b>4 論理の展開と文章の構成を考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロイロノート上の付箋「資料からわかる事実」(青色)や「考えられること」(赤色)、「提案」(白色)の順序を見直す。</li> <li>自分の意見と根拠を無理なく結び付いているか確認する。</li> <li>アドバイスがほしいポイントはないか考える。</li> </ul>	<p><b>研究内容1(1)</b> <b>身近な素材を活かした単元及び単位時間の工夫</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/>「統計からみた揖斐川町の現状」という題材を扱い、地元「揖斐川町」をよりよくするにはどうするとよいか考えられるようにする。</p>
15分	<p><b>5 仲間と交流し、アドバイスし合う。(テーマ別3人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仲間からのアドバイスをもとに論理の展開を考え直す。</li> <li>仲間に聞かれてわからなかったことをより深く考える。</li> </ul>	<p><b>研究内容2(2)</b> <b>合意形成を図ったり、最適解や納得解を見出したりする学習活動の設定</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ロイロノート上の付箋の色を内容によって変えることで、一目で付箋の内容がわかるようにする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>交流の中で意見と根拠が無理なく結び付いているか話し合えるように、例を提示する。</p>
10分	<p><b>6 アドバイスをもとに再構成する</b></p>	
7分	<p><b>7 テーマ別の班での交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1から読み取れる事実を根拠にしていたが、資料3から読み取れる事実を使ったほうが意見と根拠の結び付きが強くなるとわかったので、変えました。</li> <li>「提案」を述べる前に「資料からわかる事実」を述べようとしていたが、先に「提案」を述べたほうがより早く考えが伝わるので、説得力が増すとわかり、変えました。</li> <li>「資料からわかる事実」と「考えられること」が「提案」に無理なくつながっているとわかったので、自分の構成メモに自信をもつことができました。</li> </ul>	
終末 5分	<p><b>8 本時の振り返りを行う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自信がもてたことや自身の変容など、本時で学んだことや感想を書く。</li> <li>振り返りを発表する。(2、3人)</li> <li>次時には小論文を書くことを伝え、学習の見通しをもつ。</li> </ul>	<p><b>評価規準</b></p> <p>説得力のある文章にするために、論理の展開や意見と根拠、その結び付きを考えながら、文章の構成をしている。</p>
	<p><b>本時のまとめ</b></p> <p>初めは、「提案」を述べる前に「資料からわかる事実」を述べようとしていたが、先に「提案」を述べたほうがより早く考えが伝わるので、説得力が増すとわかり、変えました。仲間からのアドバイスも生かしながら論理の展開を工夫することで、より説得力のある構成メモにすることができたと思います。</p>	